

平成30年度（第24回）職業訓練教材コンクールの総評

職業訓練教材コンクール審査委員長

1. はじめに

平成30年度職業訓練教材コンクールには、人材開発に携わっている方々などが、各現場や実践する場面において、日々の「創意工夫」により開発した「教科書」や「映像・シミュレータ」などの様々な「教材」の応募がありました。職業訓練教材コンクール審査委員会は、「訓練指導時の当該教材使用による訓練実施効果の向上が見込まれる」などの審査観点に基づいて、応募作品から、「コンクール」として優秀な教材作品を選定しました。そして、ここに、その成果をたたえ、広く人材開発関係者などへ周知広報・普及いたします。また、訓練指導技法の技術・技能水準の向上を図るとともに、人材開発関係者などの意識をより一層啓発し、人材開発の推進や向上に資することを目指してしております。この職業訓練教材コンクールは、厚生労働省、(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構および中央職業能力開発協会の主催により行われました。

2. 応募状況

今年度の応募教材作品数は92点ありました。

応募分野は、機械加工・製図関係分野18点、電気・電子・情報関係分野40点、建築・木工・デザイン関係分野15点、産業機械・メカトロ関係分野6点、特別な配慮を要する方向けの分野8点、その他の分野（アパレル、調理、人材育成等）5点と、幅広いものでした。

3. 総評

平成30年度の職業訓練教材コンクールには、前回に続き上記の通り90作品以上の応募があり、人材開発の推進や向上に向けた御関係者の積極的姿勢がうかがえたことは喜ばしいことです。

また、職業訓練の効率化や訓練生の理解促進のための工夫をこらした作品が多く見られ、御応募いただいた皆様の粘り強い試行錯誤と豊かな創意工夫の跡と人材開発の取り組みへの強い熱意が感じられました。

その中でも特に、厚生労働大臣賞（特選）を受賞した作品「幾何公差測定品とテキスト教材一式」は、幾何公差について体系的に説明されている完成度の高い教材です。また、現在の製造業での課題を踏まえた訓練内容であり、高い訓練効果が期待されます。

その他に入賞された作品はもちろん、惜しくも入賞を逃した作品にも高く評

価できるものは数多くあり、全体的に教材としての完成度の高さを感じました。

その一方で、関連資料の不足や、職業訓練の対象となる技能・技術要素、指導・利用方法が不明瞭等、教材としての完成度が十分ではないと感じられたもの、他者の著作権や既存の商標への配慮を必要とすると思われる訓練教材も、残念ながら、一部に見受けられました。

ご関係の皆様には、上記の改善点を心にとめ、今回の受賞作品を参考に、さらなる研鑽を積んでいただけたらありがたく存じます。

今回熱心にご応募いただきました皆様方にお礼を申し上げますとともに、次回以降の職業訓練教材コンクールにおきましても、さらに多くの方々から作品を応募していただくことを期待し、総評とさせていただきます。